

# 第1 学年音楽科

## 1 年間学習計画

学期	月	単元	内容	教科書・教材等
前期	4	校歌	・校歌について歌詞の内容を理解し、声について学ぶ	教科書・教材等 生徒手帳 (校歌)
	5	鑑賞「春」 アルトリコーダー①	・バロック時代の作曲様式と楽器について学ぶ ・アルトリコーダーの運指になれる(ド～ソまでの音)	教科書 ・中学生の音楽Ⅰ (教育芸術社)
	6	音符と休符 創作① 鑑賞「映画音楽」	・音符や休符の種類の復習 ・ことばをリズムに変換する簡単な創作活動を学ぶ ・音楽から得られるイメージと音楽の特徴を聞き取る	教科書 ・中学生の器楽 (教育芸術社)
	7	音名 歌唱「主人は冷たい土の中に」	・日本音名を学ぶ ・二部形式と歌詞のあった表現の工夫について考える	教科書 ・中学生の器楽 (教育芸術社)
	9	合唱「君をのせて」 鑑賞「魔王」	・パートの役割を感じ取って合唱を行う ・曲想と歌唱表現(ドイツ歌曲)の特徴を感じ取って聴く	教科書 ・中学生の器楽 (教育芸術社)
	10	日本歌曲 和楽器に親しむ(和太鼓)	・「浜辺の歌」「赤とんぼ」など、歌い継がれる曲を学ぶ ・和太鼓の基本的な奏法を学び、伝統文化を味わう	副教材 ・音楽のハーモニー 1年 (正進社)
後期	11	リズムアンサンブル アルトリコーダー②	・音のつながりとリズム表現の工夫について ・低音域の運指になれる(ド～ソ)	副教材 ・音楽のハーモニー 1年 (正進社)
	12	創作② 日本の民謡「ソーラン節」	・タブレットを用いた創作活動(民謡音階を使う) ・日本の民謡の特徴について学ぶ	副教材 ・音楽のハーモニー 1年 (正進社)
	1	日本民謡や芸能について 鑑賞「越天楽」	・日本の民謡や芸能の調べ学習と発表 ・日本最古の合奏について学ぶ	副教材 ・音楽のハーモニー 1年 (正進社)
	2	心に残る合唱①	・卒業を祝う会や卒業式で歌う曲について学ぶ	副教材 ・音楽のハーモニー 1年 (正進社)
	3	心に残る合唱② 1年間のまとめ	・曲想に相応しい表現の工夫を行う	副教材 ・音楽のハーモニー 1年 (正進社)

## 2 観点別評価・評定・具体的な手立て

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	・実技テスト ・定期考査 ・小テスト	・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート ・プリント	・発言(課題に対する態度や姿勢) ・自己評価(ワークシート) ・ワーク ・プリント
評価規準例	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組んでいる。
具体的な手立て	・その曲の使われている楽器・作られた理由・時代背景・歌詞の内容音楽の構造および使用されている記号など、音楽の多様性について理解する。また、普段何気なく聴く音楽にも、それぞれの特徴があることを理解し、その違いを感じとる。 ・技能では、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を習得する。歌唱、器楽、創作の分野において、練習を重ねながら演奏できる技能を身に付けること。	・音楽では歌うこと・聴くこと・感じ取ったことを形にしていくことが大切となるため、ただ演奏するのではなく、学んだことを自分で創意工夫し、イメージをもとに音楽を新たに創り出すことを目標とする。 ・自分なりの思いや意図(こうした方がより良いなどの思い)をもって、音楽のよさや美しさを感じとる。	・音楽が得意であっても苦手であっても自分で意欲的に学ぶ姿勢をもつこと。 ・内容を理解するために、毎時間の目標を自覚しながら授業に参加をすること。 ・個人練習やグループ練習、意見交換などにも積極的に取り組んで学びを深める。

## 3 アドバイス

### (1) 授業中

- ①話をよく聞き、指示通りに学習や実技練習を行う。
- ②忘れ物をしないように前日に教科の持ち物準備を行う。
- ③あきらめないで、何でもまずはやってみること。技能を身に付けるためには、反復練習も必要です。回数や目標を達成できるように、ねばり強さと集中力で頑張りましょう。

### (2) 授業以外・家庭学習など

- ①日頃から音楽を聴いてみることや、テレビや映画を観るときに使われている音などに興味をもって聞く。
- ②話し声や日頃から生活の中で聞こえてくる「音」もよく聴いて、あらゆる「音」が音楽に生かされていることに気付く。
- ③「音楽のハーモニー」を自宅で復習するなど、その日やったことの振り返りをしておくこと。